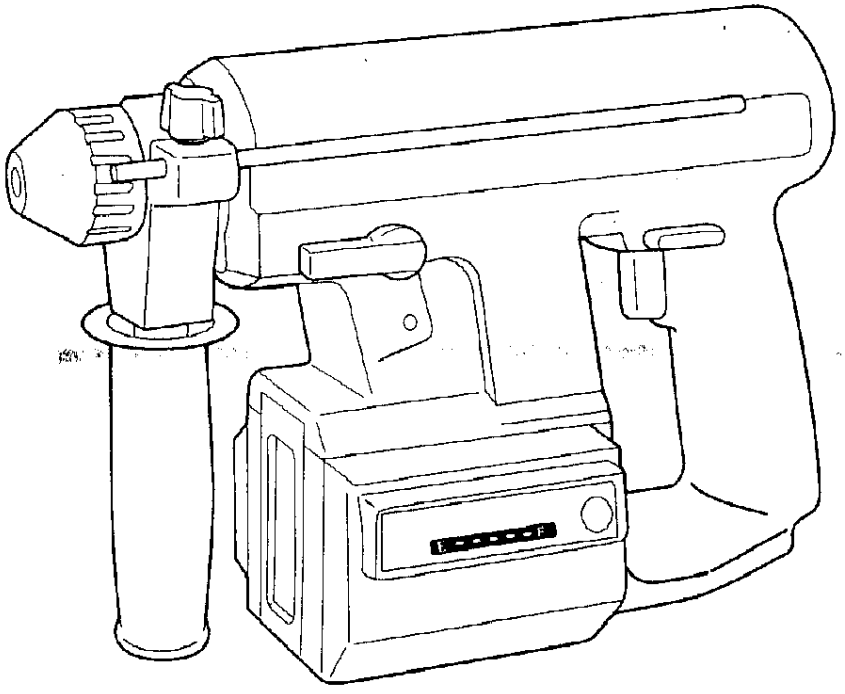
National
松下電工

保証書別添
保管用

充電ハンマードリル

EZ6812V15KV・EZ6812V15K・
EZ6812X

取扱説明書



《プロ用》

- お買い上げありがとうございました。
- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

ご使用前に
- 安全上のご注意 …… 1～5
- 各部のなまえ …… 6

使いかた
- 充電のしかた …… 7～8
- 使いかた …… 9～13

お手入れ・保管
- お手入れ／保管 …… 14

お知らせ・点検方法
- 電池パックについて …… 15～18
- リフレッシュ充電機能について …… 19
- 能力／仕様 …… 20
- 故障かな？と思ったとき …… 21～22
- アフターサービスについて …… 23
- 別売品 …… 23

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、誤った取扱いをしたときに使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を「⚠警告」、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を「⚠注意」として記載しています。
  なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
  いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

1. 専用の充電器や電池パックを使用してください。
- 他の充電器で電池パックを充電しないでください。
- この取扱説明書に掲載している電池パック以外は充電しないでください。
  破裂して傷害や損傷を及ぼす恐れがあります。

2. 正しく充電してください。
- この充電器は定格表示してある電源で使用してください。
  直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
  異常に発熱し火災の恐れがあります。
- 温度が0℃未満、あるいは温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。
  破裂や火災の恐れがあります。
- 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。
  電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。
  破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
  感電や火災の恐れがあります。

3. 電池パックの端子間を短絡させないでください。
釘袋等に入れると、短絡することで発煙、発火、破裂等の恐れがあります。

⚠警告

4. 感電に注意してください。
- ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
  感電の恐れがあります。

5. 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
  感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
  暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
  爆発や火災の恐れがあります。

6. 保護めがねを使用してください。
- 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
  切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

7. 加工するものをしっかりと固定してください。
- 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。
  固定が不十分な場合は加工するものが飛んでけがの恐れがあります。

8. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜いてください。
- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、ビット等の付属品を交換する場合。
- その他危険が予想される場合。
  本体が作動してけがの恐れがあります。

9. 不意な始動は避けてください。
- スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  本体が作動してけがの恐れがあります。

10. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- 本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。
  事故やけがの原因となる恐れがあります。

11. 電池パックを火中に投入しないでください。
破裂したり有害物質の出る恐れがあります。

⚠注意

1. **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
   - ちらかった場所や作業台は、事故の恐れがあります。
2. **子供を近づけないでください。**
   - 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの恐れがあります。
   - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの恐れがあります。
3. **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
   - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
     事故の恐れがあります。
   - 充電工具や電池パックを、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内等）に保管しないでください。電池パック劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
4. **無理して使用しないでください。**
   - 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上でのご使用は事故の恐れがあります。
   - モータがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
5. **作業に合った充電工具を使用してください。**
   - 小型の充電工具やアタッチメントは、大形の充電工具で行なう作業には使用しないでください。けがの恐れがあります。
   - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの恐れがあります。
6. **きちんとした服装で作業してください。**
   - だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、着用しないでください。
     回転部に巻き込まれる恐れがあります。
   - すべりやすい手袋や履物はけがの恐れがあります。
   - 長い髪は、帽子やヘヤカバー等で覆ってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
7. **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
   - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
   - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
   - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
     感電やショートして発火する恐れがあります。
8. **無理な姿勢で作業をしないでください。**
   - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒してけがの恐れがあります。
9. **充電工具は、注意深く手入れをしてください。**
   - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用するとけがの恐れがあります。

⚠注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの恐れがあります。
- 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの恐れがあります。

10. **調節キーやレンチ等は、必ず取りはずしてください。**
    - スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは作動時に飛び出してけがの恐れがあります。
11. **屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
    - 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
12. **油断しないで十分注意して作業を行なってください。**
    - 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。軽率な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
    - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
    - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの恐れがあります。
13. **損傷した部品がないか点検してください。**
    - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
    - 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
    - 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電やショートして発火する恐れがあります。
    - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
    - スイッチで始動および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。異常動作してけがをする恐れがあります。
14. **充電工具の修理は、専門店に依頼してください。**
    - サービスマン以外の人は本体、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行なわないでください。発火したり、異常動作してけがをする恐れがあります。
    - 本体が熱くなったり異常に気付いた時は点検修理に出してください。
    - 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
    - 修理は、必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

充電ハンマードリル 安全上のご注意

先に充電工具安全上の注意をのべましたが、充電ハンマードリルとして、
さらに次にのべる注意事項を守ってください。

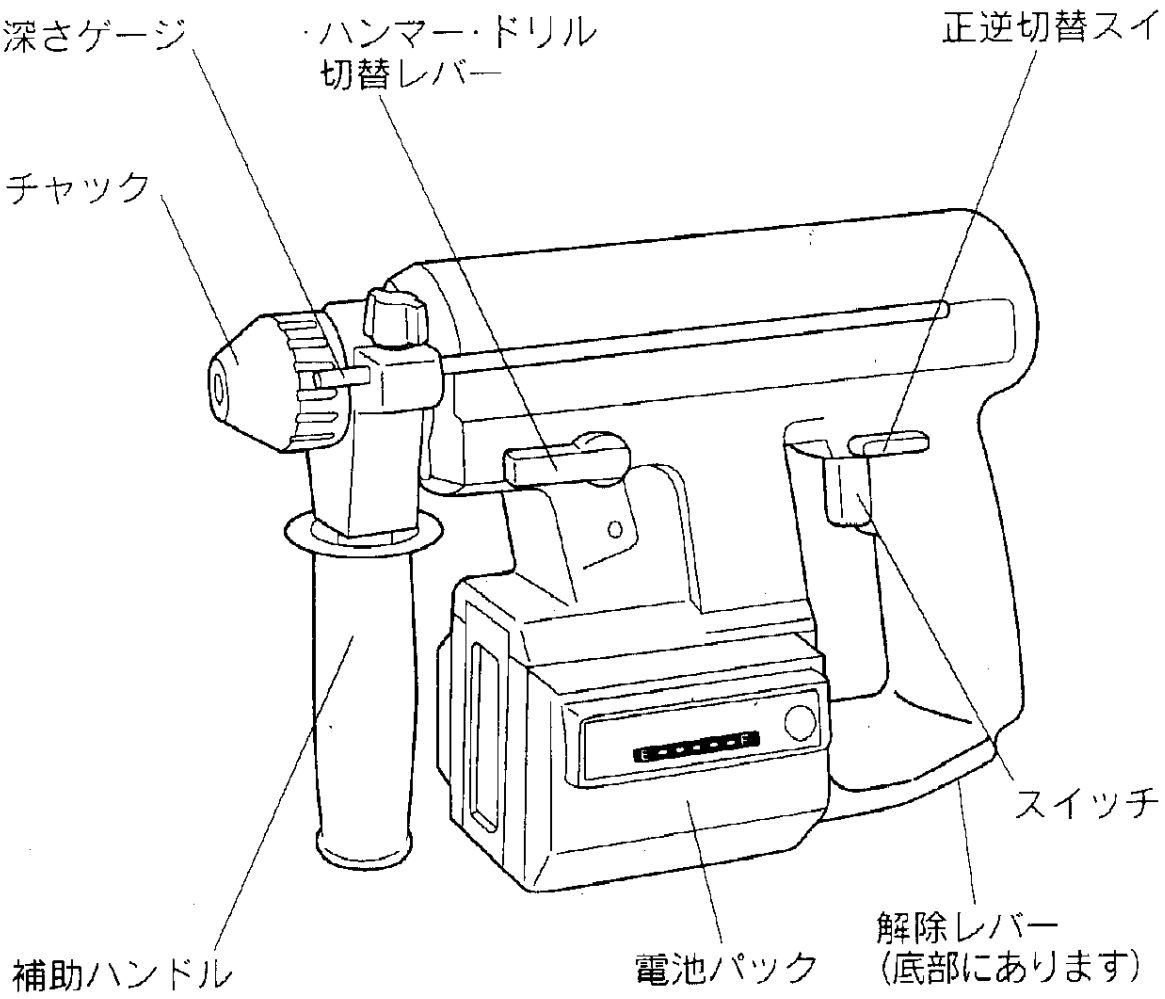
⚠警告

- **作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
  埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- **使用中は振り回されないよう本体を確実に保持してください。**
  確実に保持していないと、けがの原因になります。
- **使用中は回転部や切りくずに手や顔などを近づけないでください。**
  けがの恐れがあります。
- **2パックをこえる連続使用はしないでください。**
  本体が温度上昇し、低温やけどする恐れがあります。

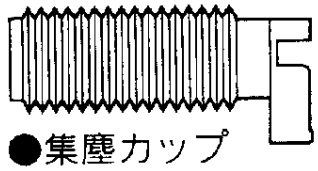
⚠注意

- **工具類(キリなど)や付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**
  確実でないとはずれたりし、けがの原因になります。
- **使用中は軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。**
  回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- **作業直後のキリやネジ・切りくずは高温になっているので触れないでください。**
  やけどの原因になります。
- **高所作業のときは下に人がいないことをよく確かめてください。**
  材料や本体などを落としたときなど、事故の原因になります。
- **細径ドリルは折れやすいので注意してください。**
  飛散して、けがの恐れがあります。

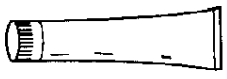
各部のなまえ



付属品

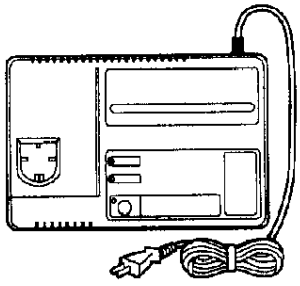


●集塵カップ

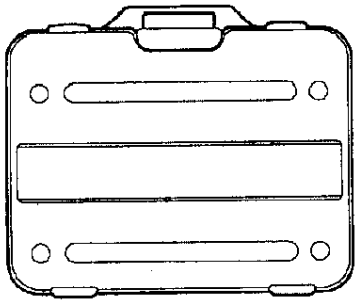


●チャック用グリス

●パックカバー



●充電器



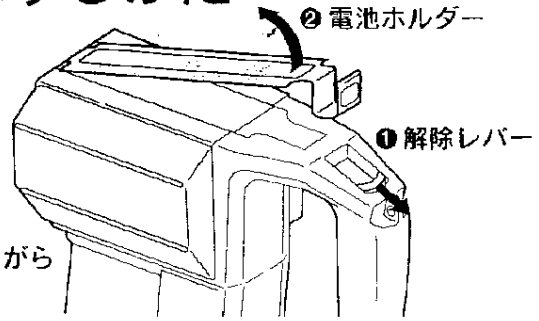
●ケース

※EZ6812Xタイプには、充電器・電池パック・パックカバー・集塵カップ・ケースは含まれておりません。
EZ6812V15KVタイプには、電池パック・パックカバーが各2個含まれております。

充電のしかた

お買い求めのときは必ずリフレッシュ充電をしてください。
(電池の不活性化により充電容量が不足したり、容量表示や電池診断機能の誤表示を防ぐため)
- **電池ホルダーをはずすときは、電池の落下に注意してください。**
  また、はめたときは確実にはまっているか確認してください。

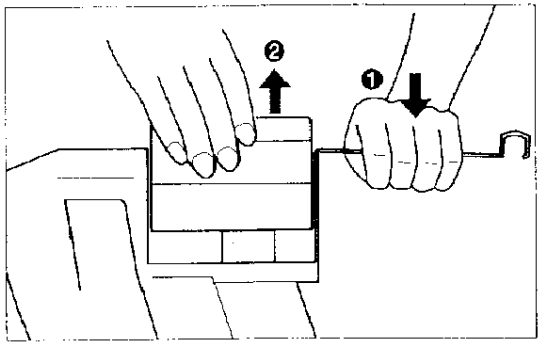
電池パックのはずしかた



1 本体を逆さにする

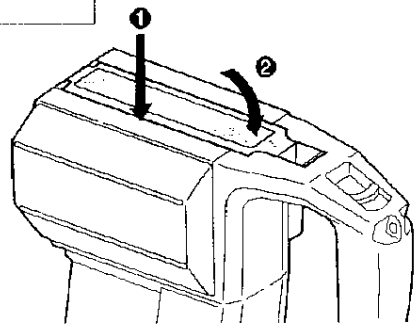
2 ❶ 解除レバーを押して
❷ 電池ホルダーをはずす

3 ❶ 電池ホルダーを押さえながら
❷ 電池パックを抜く



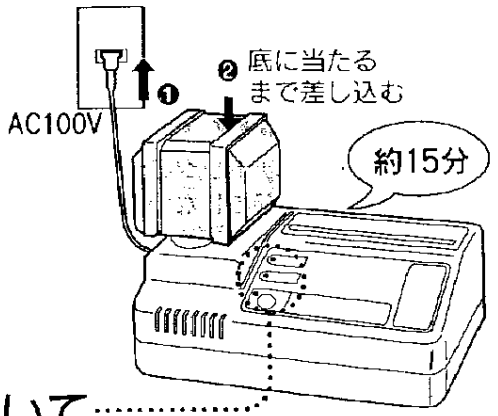
取り付けかた

電池パックを差し込み
「カチッ」と音がするまで
電池ホルダーをはめる



充電

充電時間は周囲温度(0～40℃)や電池パックの温度により多少変動します。
- ●充電後はプラグを抜く。
- ●3パック以上、連続充電するときは一度冷ます。
- ●エンジン発電機では使用しないでください。



充電ランプ表示について

ランプ表示		充電器
●充電「赤色」	点滅	**充電器通電中** コンセントに差し込んだ状態
	点灯	**通常充電中** 充電している状態
	速い点滅	充電完了
	遅い点滅	**保護充電中(30分充電)**・電池パックが低温のときや、長い間使用していなかったとき・充電器が高温になったとき
●待機「橙色」	点灯	**待機中　電池パックの温度が高い状態** (下がると自動的に充電開始)
	点滅	**充電不可**　電池パック差込口のゴミづまりや電池パックの故障時など
リフレッシュ充電 押す「緑色」	点灯	リフレッシュ充電中
	速い点滅	リフレッシュ充電完了

リフレッシュ充電を行う場合

●詳しくはP19を参照ください。

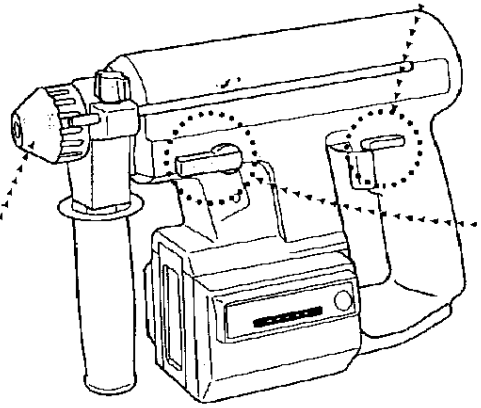
⚠警告 ●**雨中では使用しないでください。**
感電や発煙の恐れがあります。

使いかた(準備／作業)

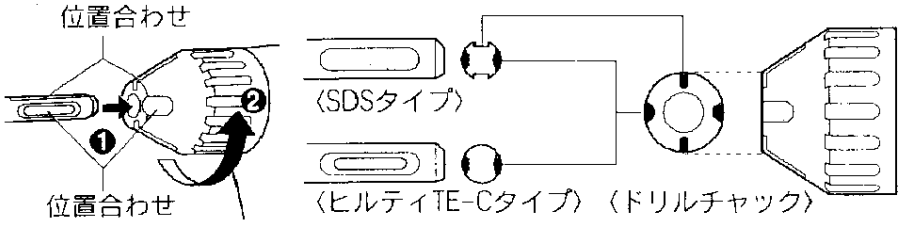
1 ドリルを 取り付ける(取りはずしは逆の手順で)

❶ドリルとチャックの位置を合わせ挿入する。
❷ドリルを保持しながら、チャックを回しドリルを奥まで入れる。
❸チャックより手を離し、ドリルが抜けないことを確認する。

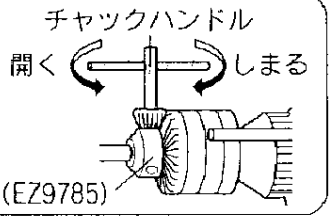
適応ドリル
SDSタイプ (ボッシュ用)
ヒルティTE-Cタイプ (ミヤナガのデュオスロット) (TE12用タイプ含む)



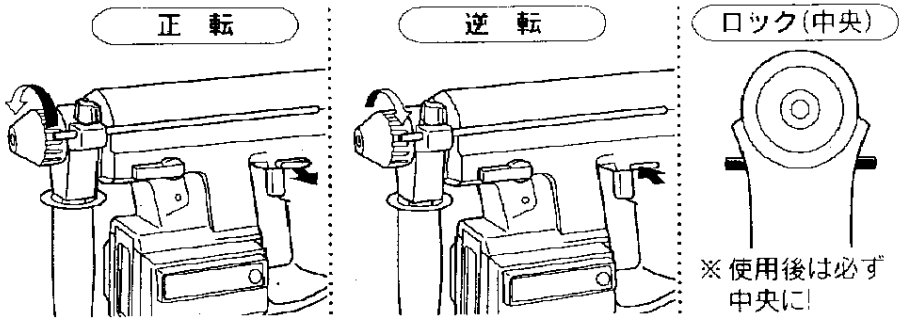
● ドリルはチャックの位置合わせに合わせて入れてください
(間違った位置に入れるとビットが取りはずせなくなる等の故障の原因になります。)



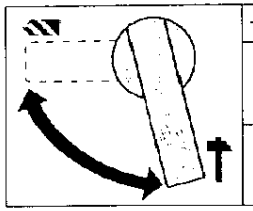
● ドリルとしてご使用になるときは、別売のハンマードリル用チャック(EZ9785)をお買い求めください。



2 正逆切替スイッチで 正／逆転を決める



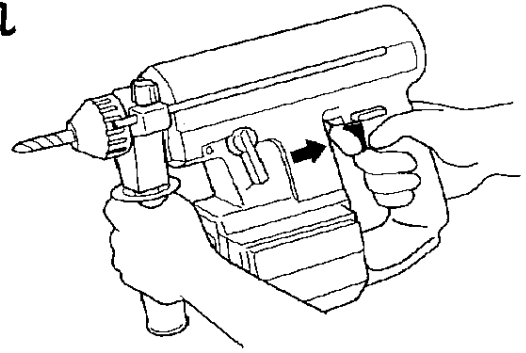
3 ハンマーかドリルを選ぶ



切替レバー位置	機 構	穴明け用途
	ハンマー (打撃＋回転)	コンクリート・石材など
	ドリル (回 転)	鉄・木材 プラスチックなど

4 スイッチを入れ 作業をする

● 軽くあてるだけで、穴明け作業ができます。
(強く押しつけすぎると電池の消耗が早くなります)
● スイッチを押し込むに従って回転数が上がります。
(穴の開け始めは、ゆっくりとスタートしてください)

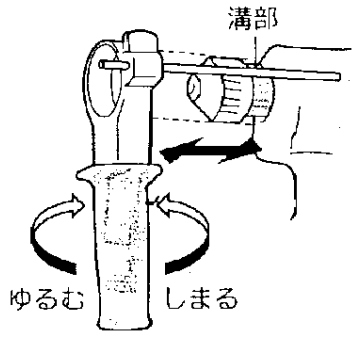


⚠警告 ●2パックをこえる連続使用はしないでください。
本体が温度上昇し、低温やけどする恐れがあります。

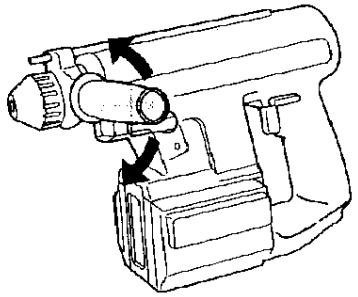
使いかた（上手な使いかた）

補助ハンドルの取り付け／取りはずし

はずすときは補助ハンドルを
ゆるめて引き抜く

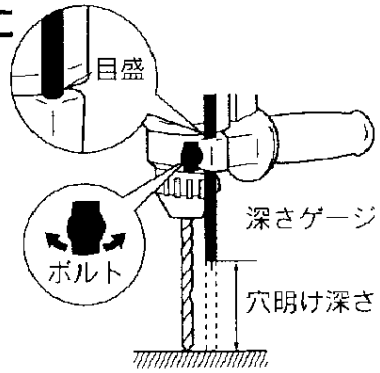


付けるときは、確実に
本体の溝部に挿入し
使いやすい角度で補助ハンドルを
確実にしめる



深さゲージの使いかた

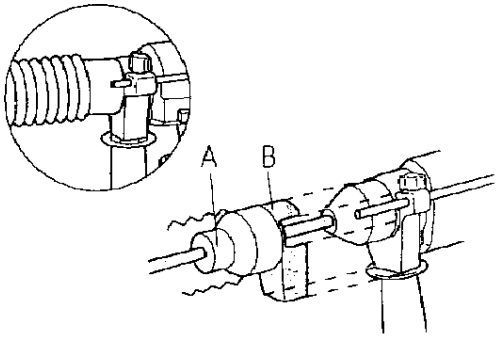
❶蝶ボルトをゆるめる。
❷ドリルを被削材に押し付けてからドリルと深さゲージの先端を合わせ目盛を読む。
❸深さゲージを穴明けの深さ分だけ後方にずらす。
❹蝶ボルトを確実に締めつける。



集塵カップの取り付けかた

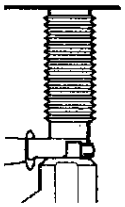
- φ20mm以上のドリルは取り付けることができません。
- コンクリート・モルタル等窯業用の被削材以外にご使用にならないでください。金属等に使用されますと、金属粉の熱などにより集塵カップを破損する恐れがあります。

❶ドリルを本体に取り付ける
（取り付けかたはP9参照）
❷A部にドリルを通し、
B部を補助ハンドルの形状に
合わせて取り付ける



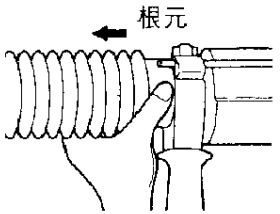
作業時は

集塵カップをぴったりと壁面に
つけて作業してください。



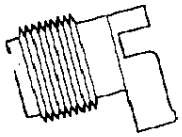
取りはずすときは

集塵カップの根元を持って
取りはずしてください。



集塵カップの保管

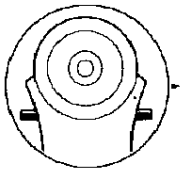
圧縮して保管しないでください。
圧縮したまま保管されますと
元の形状に戻らない場合があります。



使いかた

使いかた(終ったら)

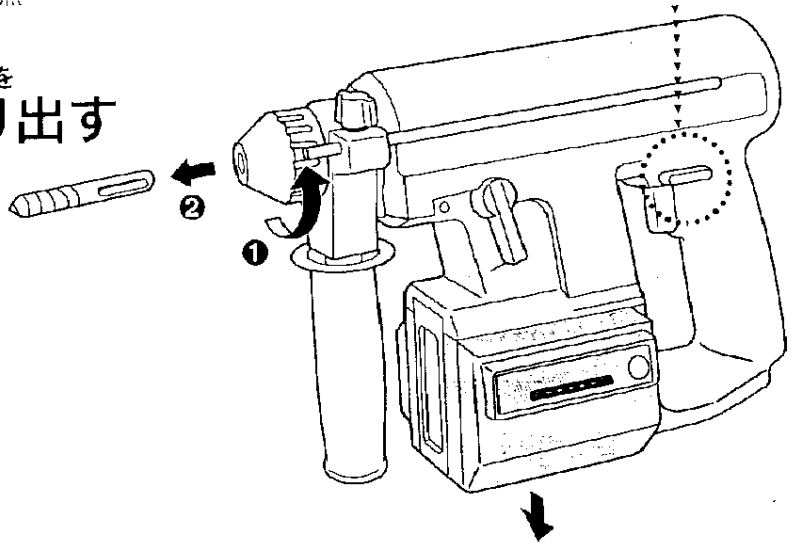
1 正逆切替スイッチを ロックにする



2 電池パックを抜く

●P7参照

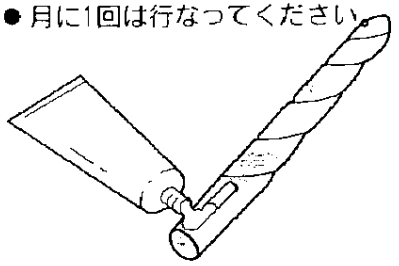
3 ドリルを 取り出す



お手入れ／保管

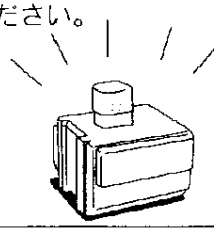
ドリルにグリスを 塗付する

● 月に1回は行なってください。



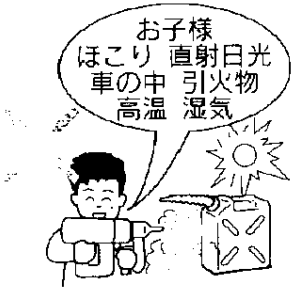
電池パックはカバーを 付けて

● 単品で保管時は、短絡を防ぐため付属のパックカバーを付けてください。



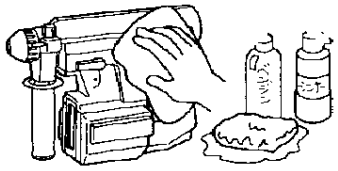
保管は適切な場所で

● 事故や故障を防ぐため。



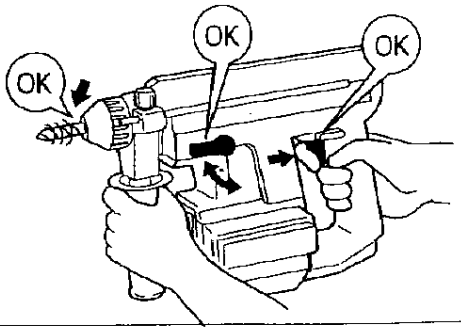
やわらかい布でふく

● 濡れた布や、シンナー、ベンジンなど揮発性のものは使用しないで。(変色する原因)



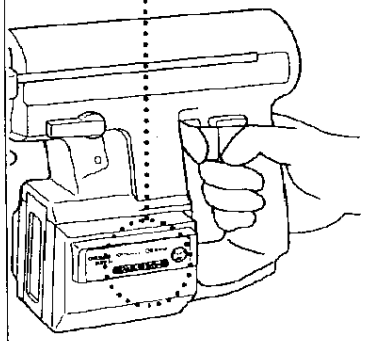
定期点検の実施

● 定期的に点検・掃除をしてください。

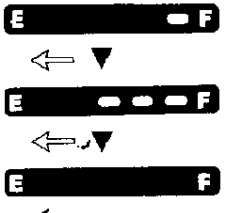


電池パックについて（電池容量表示の見かた）

本体使用中の容量表示の見かた



【使用中容量表示】
スイッチを切ったあと、残容量を約5秒間表示

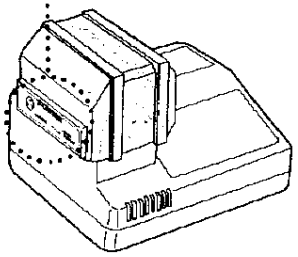


約20%未満 ▼ 充電してください

【過負荷表示】
ロックする直前に表示
（過負荷が解除されると表示は消灯）

過負荷表示するような作業は避けてください
（本体や電池パックが熱い場合は冷めるまで休ませてください。）

充電中の容量表示の見かた



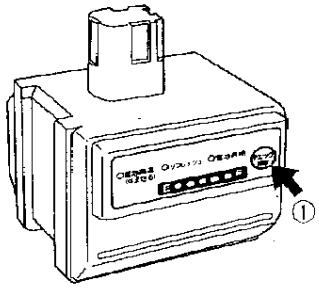
①充電開始時
残容量に応じて点灯

②充電中
容量に応じて順次点灯
（充電時間の目安に）

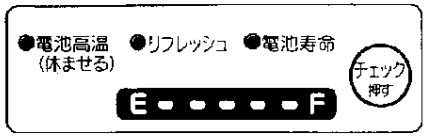
約85～100%

③充電完了
充電器の充電ランプで確認

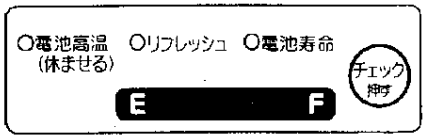
電池パック単品での容量表示の見かた



①押す



②電池高温→リフレッシュ→電池寿命の順に約0.5秒点灯します
（電池の状態を診断しています）



③電池の残容量を約5秒間表示
（電池診断機能についてはP17～P18参照）

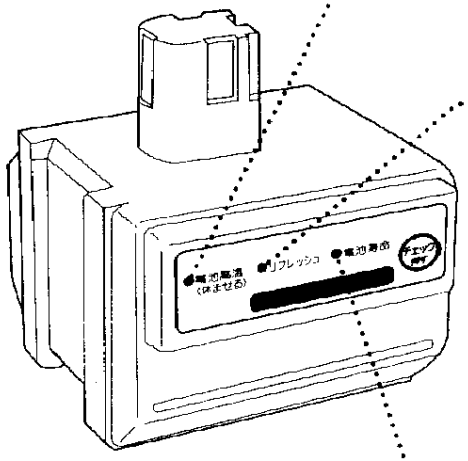
容量表示がこんなときは

構造上、下記の現象が発生する場合がありますが、故障ではありません。

長い間(2か月以上)放置した場合、ロックした場合、フル充電せずに使用した場合、表示が正しく行なわれない。	一度使い切った後、フル充電してください。
スイッチを途中で保持すると、ランプが点滅する。	スイッチを最後まで引き込んでください。
スイッチのオン時間が1秒以下のとき、ランプが、つかないことがある。	スイッチを2秒以上オンにしてください。
電池パックを充電中、または本体に取り付けて使用しても容量表示ランプが点灯しない。	一度使い切った後、充電してください。
電池パックのチェック押すボタンを押したとき、容量表示ランプが点滅しつづける。	フル充電した後、再度お確かめください。

電池パックについて(電池診断機能の見かた)

電池の状態診断は



状態	診断方法
電池高温	**自動診断** (電池が高温になると自動的にランプが点灯します。)
リフレッシュ	チェック押すボタンを押す ⇒ ⇒ ●電池高温(休ませる) ●リフレッシュ ●電池寿命 チェック押す E ▬▬▬ F 電池高温→リフレッシュ→電池寿命の順に約0.5秒点灯します(電池の状態を診断しています)
電池寿命	○電池高温(休ませる) ○リフレッシュ ●電池寿命 チェック押す E ▬▬▬ F 電池の残容量を表示すると同時に電池の状態を約5秒間お知らせします。 (図は電池寿命が点灯したとき)

※本体のスイッチを切った後、および電池パックを充電器に差し込んだときも電池診断機能は表示します。

電池高温ランプ表示が点灯したら

ご使用の電池パックが高温になっています。そのままお使いになると寿命が短くなってしまいます。ランプが消えるまで電池パックを休ませてください。

- ●使用中以外でも周囲が高温(夏期の車中等)の場合、ランプが点灯します。
- ●電池パックの表面が熱く感じなくても、ランプがついている場合は、中の蓄電池が高温です。

リフレッシュのランプが点灯したら

電池パックを性能回復させるため、リフレッシュ充電を行なってください。
約8~12時間かけてリフレッシュします。(リフレッシュ機能について P19参照)
リフレッシュ充電機能がないユニバーサル急速充電器をご使用の場合24時間充電を行なってください。

電池寿命のランプが点灯したら

一度使い切ってから、数回充放電を行なってください。それでも電池寿命のランプが点灯したら寿命です。新しい電池パックをお買い求めください。

寿命の目安

- ●充電回数は※1上手に使った場合約1200回、※2苛酷に使った場合約500回です。

※1→通常の作業レベル、周囲温度は約10~30℃、電池パックは「フル充電して使い切る」など。
※2→大負荷作業、周囲温度は約0~10℃、約30~40℃、電池パックは「フル充電しない、使い切らない」など。

ニカド電池リサイクルについて

- ●この製品には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの廃却に際しては、電池パックをそのままお買い求めの販売店へお返しください。
(電池パックは短絡防止のため、必ずパックカバーを付けるか端子部に絶縁テープを貼ってください。)

〈本製品の使用電池〉

- ●名称:円筒密閉形ニッケル・カドミウム蓄電池　KR-SC
- ●公称電圧:1.2V/1個　●数　量:20個

⚠警告

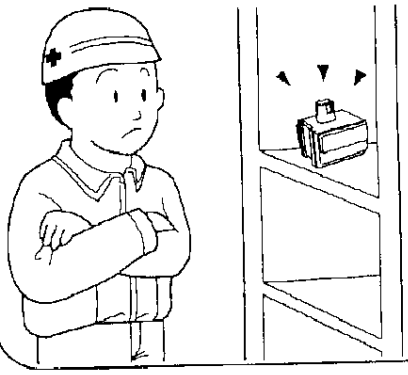
- ●電池パックを火中に投入しないでください。
破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

リフレッシュ充電機能について

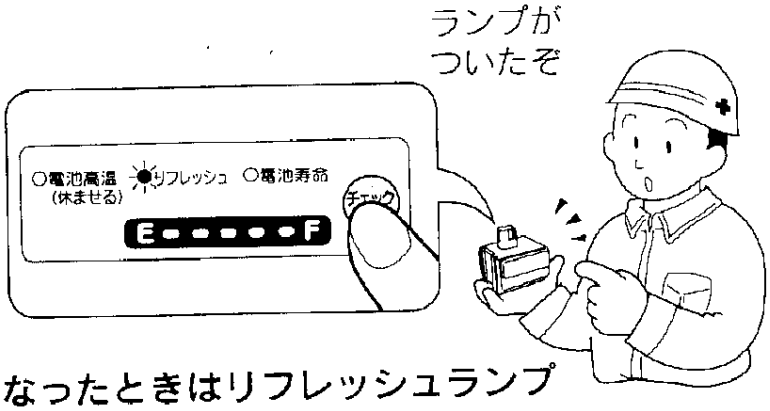
お手持ちの電池パックがこんな状態に・・・

使い切らないで途中充電することが多い電池パックを活性化させるとき

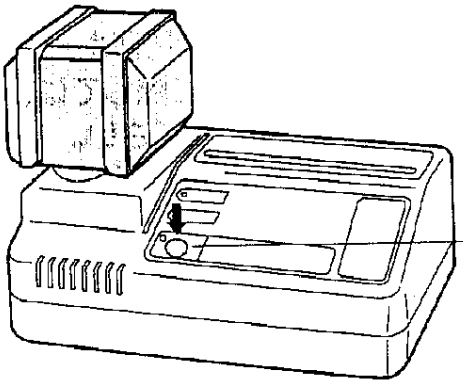
2ヵ月以上放置していた電池をご使用になるとき



高容量電池パックVタイプをお持ちの方で、(チェック 押す)ボタンを押したときに「リフレッシュ」のランプが点灯したとき
(電池診断機能についてはP17～18参照)



※電池パックをお買い求めになったときはリフレッシュランプが点灯しなくても必ずリフレッシュ充電をしてください。



電池パックの性能回復にリフレッシュ充電を行なってください。

充電器の(押す)ボタンを押してください。
約8～12時間でリフレッシュ充電完了です。

リフレッシュ充電をひんぱんに行なうと電池パックの性能を損なう恐れがあります。月1回程度のリフレッシュ充電をおすすめします。

能力／仕様

能力

■適応能力

※適応能力以外のサイズはご使用にならないでください。
故障や、ドリル破損の恐れがあります。

コンクリート用ドリル…φ4.5～φ20　木工用ドリル……φ3～φ27
金工用ドリル……φ1.5～φ13　ホールソー……最大φ25

■1回のフル充電による使用能力（周囲温度20℃）

※数値は目安です。蓄電池性能の経時変化、相手材の硬さ、ドリルの切れ味などにより変わります。

穴あけ数

ドリル径	材　料	深さ・板厚	穴明け数
φ6.5mm	コンクリート（強度 2.4kN／cm²（240kgf／cm²））	約30mm	約110孔
φ10mm		約40mm	約50孔
φ12.5mm			約38孔
φ16.5mm			約22孔
φ20mm			約13孔
φ25mm※	冷間圧延鋼板　SPC	ホールソー厚1.6mm	約38孔

※別売のドリルチャック（EZ9785）を使用の場合

仕様

本体

モータ電圧	DC24V	質量（重量）	3.6kg
回転数	0～950回転／分	大きさ	長さ 高さ 幅 291×199×68（mm） 電池パック最大幅106mm
打撃数	0～4,600回／分		
打撃力	23.6kN（2400kgf）		

充電器（EZ0217）

電源	AC100V 50-60Hz	消費電力	510VA	質量（重量）	1.3kg

※充電可能な電池パック

	7.2V	9.6V	12V	15.6V	24V	充電時間
Cタイプ	EZ9066	EZ9086	EZ9006	—	EZ9016	約9分
Dタイプ	EZ9065	EZ9080	EZ9001	—	—	
Eタイプ	EZ9165	EZ9180・EZ9182	EZ9101	—	EZ9110・EZ9111	約12分
Sタイプ	—	EZ9181・EZ9183	EZ9102	—	—	
Vタイプ	—	EZ9187	EZ9107	EZ9137	EZ9117	約15分

故障かな？と思ったとき

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

	症状		考えられる原因	処置
充電時	充電器をコンセントに差し込んだとき充電ランプが点滅しない。		AC100V以外のコンセントで使用している。	AC100Vのコンセントを使用してください。
	充電完了した電池パックを再度充電すると、充電ランプが点灯する。		フル充電を検知するのに時間がかかるため	しばらくすると、充電完了表示になります。
	充電中、テレビ・ラジオに雑音が入る。		高周波で制御しているため	別のコンセントで、またはテレビ・ラジオから離して充電してください。
	電池パックを差し込んでも充電ランプが点灯しない。	待機ランプ点滅	充電器と電池パックの接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除いてください。
		充電・待機を繰り返す	電池パックが熱くなっている。	そのまま充電を続けてください。冷めると自動的に充電を開始します。
	充電してもフル充電できない。		寒い所から急に暖かい所で充電をした。	1時間程度放置し、再度充電してください。
			パックが長期間放置されていた。あるいは購入したばかりである。	24時間充電(リフレッシュ充電機能付の場合はリフレッシュ充電)を行ってください。
作業時	動かない。		電池パックが充電されていない。	充電をしてください。
			電池パックと本体の接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除いてください。
	充電しても穴あけ本数が少ない。		ドリルが消耗している。	新しいドリルと交換してください。(P.23)
			電池パックの寿命	新しい電池パックをお買い求めください。(P.23)
その他	●充電開始直後に「充電ランプ」も「待機ランプ」も点灯しない。 ●「待機ランプ」点灯後、1時間以上しても「充電ランプ」にかわらない。 ●「充電ランプ」点灯後、50分以上充電しても速い点滅にならない。 ●充電器の「リフレッシュ充電ランプ」点灯後、13時間以上充電しても速い点滅にならない。			

左記の点検をしてもなお異常がある

ただちに使用中止

● 充電器と電池パックをセットでお買い上げの販売店へお持ちください。

アフターサービスについて

この充電ハンマードリルには保証書を別途添付しております。
(ただしビット・電池パックは保証の対象外です。)

保証書について

保証書は販売店でお渡しいたしますから、必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容などをよくお読みいただき、大切に保管してください。
●保証期間はお買い上げの日から6ヵ月間です。

修理を依頼されるとき

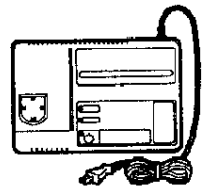
サービスを依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、再度ご点検の上(P21・22参照)、なお異常がある場合はお買い上げの販売店へご依頼ください。
●保証期間中はお買い上げの販売店にご相談ください。保証書の記載内容により販売店が修理させていただきます。その他詳細は保証書をご覧ください。
●保証期間を過ぎているときはお買い上げの販売店にご相談ください。修理によって商品の機能が維持ができる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
●販売店にご依頼になれない場合はお近くの松下電工ご相談窓口(別紙一覧表ご参照)にご連絡ください。

アフターサービスについてご不明な点は

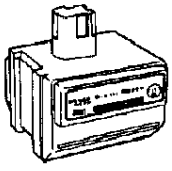
お買い上げの販売店又はお近くの松下電工ご相談窓口(別紙一覧表ご参照)にお問い合わせください。

別売品

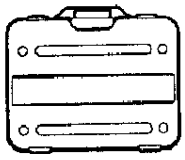
● 充電器
EZ0217
標準価格19,000円
(税別)



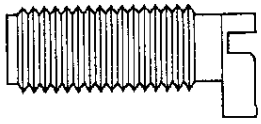
● 電池パック
EZ9117
標準価格21,600円
(税別)



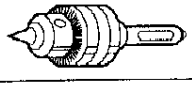
● ケース
EZ9513
標準価格4,000円
(税別)



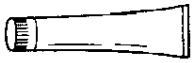
● 集塵カップ
EZ9730
標準価格2,000円
(税別)



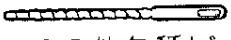
● ハンマードリル用チャック
EZ9785
(チャックハンドル付き)
標準価格4,500円(税別)



● チャック用グリス
EZ6812T7917
標準価格600円(税別)



● コンクリート用ドリル
EZ9466
標準価格3,800円(税別)



※その他各種ビットを用意致しております。

松下電工株式会社　パワーツール商品事業部
〔〒522〕彦根市岡町33　TEL (0749)23-1511(代表)